



WEEKEND
FLOWER

September

花と素敵な週末を。

9月

まだまだ残暑が続いていますが、ふと通り抜ける風にも秋を感じますね。
秋は実物だけではなく、春に次いで沢山の種類の花が出回りはじめます。
花が盛りだくさんの季節を楽しみましょう。

				WEEKEND FLOWER			
MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	
8/28	8/29	8/30 トルコキキョウ	8/31	1 アイビー	2 秋色アジサイ リンドウ	3 紫式部	
<p>■ そろそろ秋の気配… 「オータムカラーのお花特集」</p> 				  			
4 オペラピンク	5	6	7	8	9 重陽の節句 コロシ	10 カントリー	
		<p>■ 9月9日は重陽の節句 菊をめでて邪気を払いましょう!! 「菊フェア」</p>		 			
11	12	13 ピコティ	14	15 キバナコスモス サニーゴールド	16	17 ベルサイユ	
	<p>■ 秋のお花の代表格 「コスモスフェア」</p>			 			
18 敬老の日 ナデシコ	19	20 彼岸の入り スカビオサ	21	22	23 秋分の日 秋明菊	24 センブリ	
		<p>■ 野の花を飾ってシャンペトル気分! 「秋の野の花特集」</p>					
25	26 彼岸の終り ノイバラ	27	28 栗	29	30 ビバーナム コンパクター	10/1 紫式部	
<p>■ 収穫の秋だから… 「秋の実物フェア」</p>		 		 			

※週末にオススメする花は、各店によって異なります。予めご了承ください。



WEEKEND
FLOWER

花と素敵な週末を。

重陽の節句の豆知識

9/9が一番おめでたい!!



秋といえば重陽の節句。日本の五節句の最後をしめくくる行事として、江戸時代にはもっと盛大に行われていたそうです。日本の美しい風習として、9月9日は重陽(ちょうよう)の節句を見直してみましょう。

■重陽の節句

中国伝来の陰陽説では奇数が「陽の数」、偶数が「陰の数」とされていました。その中でも最も大きい9が重なる9月9日は全ての節句の中でも一番めでたい日とされています。

日本にはこの風習が平安時代の初めに伝わり、菊の香りを移した菊茶を飲んで邪気払い、長命を願うという宴が貴族の宮中行事として広まりました。その後、各地で菊を愛でる祭りや行事が催され、「菊の節句」「菊の宴」とも呼ばれるようになりました。また、収穫の時期ということもあり、一部の農民の間では収穫祭としてお祝いをしていました。そのため別名で「栗の節句」とも呼ばれていました。



■菊を飾るわけ

古代中国では菊は「翁草(おきなくさ)」「千代見草(ちよみくさ)」「齡草(よわいくさ)」と言われ、無病息災を願い邪気を払い長生きする効果があると信じられていました。また、旧暦の9月9日は今でいえば10月の中旬にあたり、菊が最も美しい季節であることも、理由の一つかも知れません。華道の世界でも9月9日は大切な日とされており、重陽の節句では菊のみを使った生花を活けます。

■「被せ綿(きせわた)」で縁起の良い飾り方

旧暦の重陽の節句の前夜に菊の花に霜よけの綿をかぶせ、その露と香りを移しとった翌朝その綿で体を撫でると、長寿を得るといわれた「被せ綿(きせわた)」という風習がありました。この風習にならい綿に見立てたカラフルなメイク用コットンなどを使って、菊を美しく飾り付けた「菊の被せ綿(きせわた)アレンジ」はいかがでしょう。重陽の節句を目で香で感じて楽しんでみましょう。



日本橋室町店/森田

DAIICHI-ENGEI

第一園芸株式会社

<http://www.daiichi-engei.jp>

 三井不動産グループ